



## 花火大会観覧船の「安全五箇条」

～衝突・乗揚げ事故に注意！～

- 花火大会観覧に関連する事故は、不慣れな海域を夜間に航行（夜間は周囲の状況が判りづらい）することで、衝突、乗揚げ事故の蓋然性が高くなります。
- 花火打上場所周辺に多くの観覧船が集まり、花火大会終了と同時に夜間周囲が判りづらい状況で一斉に帰港するため進路が交差する等、衝突の危険が高くなります。
- 「安全五箇条」で安全な航行を心がけて下さい。

## 「安全五箇条」

### 第一条 航行海域を事前に十分調査すべし

（夜間は昼間と見え方が全く違い、周囲が見えづらくなります。）

### 第二条 航泊禁止区域内に入るべからず

（港長等が花火大会の影響による船舶交通の安全を考慮し、区域を明示して船舶の航行・停泊を禁止しています。）

※航泊禁止区域などは、五管区水路通報、海の安全情報（沿岸域情報提供システム）や海上保安部のホームページで確認できます。

### 第三条 酒酔い操縦するべからず

（飲酒の影響により、正常な操縦が出来ないおそれがある状態で、操縦することは禁止されています。）

### 第四条 ゆっくり走るべし

（花火大会が終わると、周囲の船が一斉に動き出します。）

### 第五条 ライフジャケットの常時着用等自己救命策を確保すべし

（海中転落した場合、特に夜間は発見されにくくなります。）